沼田町防災情報

1923年９月１日に発生した「関東大震災」を教訓にして、災害への心構えを忘れないように、毎年９月１日は防災の日、９月の１カ月は防災月間に指定されています。
９月は、日本列島を覆う太平洋高気圧の勢力が弱まり、一年の中で最も台風が多い時期です。
災害が発生するたびに食料品や防災用品が商店から姿を消してしまいます。そうなった時に慌てなくて良いように、この「防災月間」をきっかけに、自分自身の「災害時の備蓄」「災害時の行動」について考えてみましょう。

■いざというときのために日頃から「備え」を万全にしておきましょう。

備蓄品 *数日間を自活するためのもので最低でも3日分を用意しましょう。

●燃料
卓上コンロ、スペアガス、固形燃料など

●洗面具
歯ブラシ、タオル、石鹸など（避難所にはありません）

●水
飲料水は1人当り一日約3リットルが目安です。

●暖房
暖房器具、使い捨てカイロなど

●食料品
米、アルファ米、レトルト食品、カップ麺、菓子類など保存期限の長いもの

■台風が接近！大雨が予想される場合

❶ ラジオ、電池の備えを！

停電に備え、携帯ラジオ、電池の準備を。

❷ 気象情報を聞く

気象情報を注意深く聞きましょう。また、町の防災無線などの呼びかけを聞きのがさないよう注意しましょう。

❸ 早めの準備を！

避難に備えて非常持出品の準備を。

❹ すみやかな行動を！

避難準備情報や避難指示が出たらすみやかに行動を。特に河川の付近では注意。

風の強さと吹き方

平均風速 15～20 m/s
風に向かって歩けない。
転倒する人もでる。
小枝が折れる。

平均風速 20～25 m/s
しっかりと身体を確保しないと転倒する。窓ガラスが割れる恐れもある。

平均風速 25～30 m/s
立っていられない。屋外での行動は危険。
樹木が根こそぎ倒れはじめる。

沼田町から出される避難情報

■市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4（避難情報）で必ず避難しましょう
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等（警戒レベル）				河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）		
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等		防災気象情報（警戒レベル相当情報）浸水の情報（河川）	防災気象情報（警戒レベル相当情報）土砂災害の情報（雨）
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
＜警戒レベル４までに必ず避難！＞						
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当	氾濫注意情報	―
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	―	―

避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

沼田小学校で１日防災学校が開催されました

９月１０日（金）に沼田小学校を会場とした「１日防災学校」が開催されました。

授業の中に防災の要素を取り入れることで、児童が防災の知識を学び、災害時の生きる力を育むことを目的に実施されている取り組みで、沼田町では令和２年度に沼田中学校で実施され、今回で２回目の取り組みとなります。

当日は、町の防災担当による講話と過去の災害ＤＶＤの視聴に引き続き、１年生～３年生までの低学年が「防災かるた」を楽しみながら災害時の行動などを学び、４年生～６年生までの高学年は、段ボールベッドやパーテーションを使った避難所の設営を体験しました。

▲高学年の避難所設営体験

▲低学年の「防災かるた」

■問合せ先　総務財政課 総務グループ　☎３５－２１１１